

ロールシャフトに関する一貫した受注を目指す

株式会社小出ロール鐵工所 品質管理部 設計課 川上 翔

【事業計画名】

平成24年度補正 加工品と品質保証成績表の早期対応を可能にしたシステムの開発

平成25年度補正 ポータブル三次元測定器活用による、長尺加工品の精密測定効率化



■ 企業情報 ■

【創業年月】 大正3年9月

【代表者】 小出 明治

【本社所在地】

〒130-0001 東京都墨田区吾妻橋3-5-12

【工場所在地】

〒275-0001 千葉県習志野市東習志野6-21-8

【TEL/FAX】 047-475-3811 / 047-475-2422

【Webサイト】 <https://www.koideroll.co.jp/>

【資本金】 16,792,000円

【従業員数】 104名

【取扱製品】

製鉄用各種鍛鋼焼入ロール製作及び研削加工

製紙用各種ロール製作及び研削加工

製粉用各種ロール研削加工

長さ12mという大きなサイズの ロールシャフトも製造可能

小出ロール鐵工所では、ロールシャフトの製造、修理、解体・組み込みをしております。よく道路等に、バツテン印の入った鉄板があるのを見るかと思いますが、その製造を行えるようなシャフトを作れるのが弊社の強みだと思います。上下2枚のロールを組み合わせることであの模様を出しているのですが、この模様を出せるのは弊社のロールシャフトを除いてほとんどありません。

それから製作可能なサイズも売りの一つです。他社さんだと直径40～50cmが限界なのですが、弊社では直径2m×長さ12mという巨大なロールシャフトを作ることができます。最大重量も40tと、重い工業製品にも対応できるものが生産可能です。

お客様はロールシャフトを導入してくださっているメーカーさん、主に鉄鋼メーカーさんが多いですね。それからロールシャフトというのは印刷にも使われるので、製紙業のメーカーさん等ともお付き合いがあります。これらのお客様に製品を納入するのはもちろんですが、弊社では別に会社を設けて、そこで出張工事というものを行っています。操業中のトラブルや日頃のメンテナンス等を請け負うサービスで、お客様にもご好評をいただいております。

三次元測定器の導入により 正確な図面作りが可能に

弊社ではものづくり補助金を、三次元測定器の導入

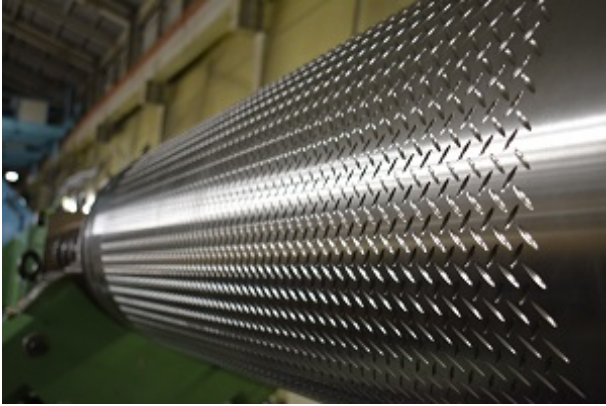
に使わせていただきました。これは対象物の座標を三次元でとるための装置なのですが、こちらの装置を図面製作に利用しています。例えばお客様から、「この製品の生産ラインを修理したいんだけど設計図がないから修理できない」という声をいただいたとします。その際に、この三次元測定器で型をとり、リバースエンジニアリングで設計図の製作をします。三次元測定器導入前から目視での測定、設計図の製作というのは行っておりましたが、三次元測定器の導入によって複雑なロールに対しても正確に図面に起こすことが可能になり、精度も格段に上げることができました。現地、お客様先で出張測定を行うこともあります。あまりサイズが大きくなってしまうとサイズオーバーになってしまいますが、ある程度は柔軟に対応することが可能です。

三次元測定器の導入自体は3、4年ほど前だったのですが、測定事業に対する需要が本格的に伸び始めてきたのは2016年辺りからです。それでも現在の全事業における測定事業の割合というのは1%未満です。なのでこれだけに注力、というわけにはいきませんが、この測定事業への参入をきっかけに、他にも今まで取り組んでこなかった様々な事業にも手を出していきたいと思っています。

とはいえ弊社のメインは加工です。ここに軸は残したまま、というよりはここに全てが繋がるような事業展開を今後はしていきたいです。ただその軸となっている加工の中でもまだまだ発展の余地があると思っています。例えば今までは丸型のものばかりを扱ってきましたが、角型のものを作ることがあるかもしれません。また、既

にある事例でいいますと、モーターの中に入っているシャフトの製造なども行っています。鉄や紙を扱う企業様だけでなく、様々な業種の企業様とお仕事させていただきたいですね。

また三次元測定器の導入もその一環だったのです



が、弊社では今現在、お客様のロールシャフトに関わる全てを一貫して受注できるような体制に移行しています。メンテナンス管理の請負や、納入時の解体・組み込み等も積極的に営業をかけていくことで、ロールシャフトなら小出さんに、と思ってもらえるような会社になりたいです。



株式会社小出ロール鐵工所の主な製品や工場風景

